

患者の皆様へ

2023年11月21日

麻酔・疼痛・緩和医療科

現在、麻酔・疼痛緩和医療科では、「卵巣がん手術における術中出血量」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（令和2022年12月31日以前に千葉大学医学部附属病院で卵巣がん手術を受けた患者）の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「卵巣がん手術における術中出血量と関連因子の後ろ向き検討」

2. 研究の意義・目的

今までの行われた卵巣がん手術における出血量と、血液検査結果や麻酔薬、点滴の量との関係を調べて、より卵巣がんの手術中の出血量を減らす方法を調べます。

3. 研究の方法

電子カルテに記載されている身長、体重、血液検査 電子麻酔記録に記載されている使用している薬剤の種類と量、腹水量、輸液量、人工呼吸器設定、血圧などと出血量を調べ、コンピューターによる計算で関連を調べます。

研究期間：承認日より2024年12月31日まで

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等を研究番号に置換して、個人が特定されないよう加工した後に管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院麻酔科で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院

本件のお問合せ先：医学部附属病院 麻酔・疼痛緩和医療科

研究責任者 孫 慶淑

臨床研究室 043（226）2303 内線（6771）